

2023年若手の会 サイエンスアゴラ 2023

「今こそ考えよう！みんなで出来るSDGsアクション」実施報告

化学部会 若手の会

1. 概要

- 開催日時： 2023年11月18-19日（土日）9時30分～17時00分
- 開催場所： テレコムセンター（東京都江東区青海二丁目5番10号）

2. 当日参加スタッフ

- 石川さん、一双さん、佐藤さん、島野さん、滝口さん、竹下さん、藤山さん、山本さん、吉川（報告者）

3. 費用

<収入> 対外活動促進費：96,532円（島野さんの交通費が上限の30,000円）

<支出> ポスター作成代：2,210円

備品代：3,050円

材料代：48,000円

機材レンタル代：21,560円

説明員動員費：48,556円（島野さんの不足分1,730円、一双さんの交通費2,094円を若手の会から補助）

運送費：2,090円

合計：125,446円

<収支> -28,934円

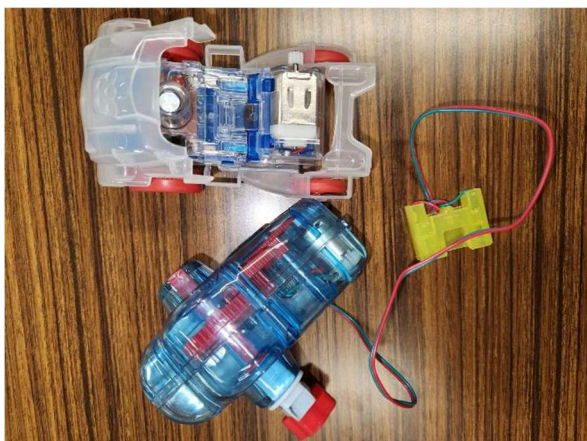
<前回までの繰越金> 28,815円

<繰越金> -119円

3. 実施内容（当日までの準備）

- ・企画タイトルは「今こそ考えよう！みんなで出来るSDGsアクション」。化学×SDGsに昨年の電気自動車キットが好評だったことでうまく融合できないか考え上でのタイトルとなった。
- ・ターゲットは子供がいる家族。家族でSDGsについて技術士と対話しようということにした。
- ・流れはSDGsかるたで遊んでもらい、その流れでSDGsについて、化学とのかかわり、みんなが実際にできるアクション（宣言）、そしてお子さんに電気自動車キットで遊んで先着だがプレゼントするというものになった。

・メインの準備は SDGs 概要、SDGs と化学とのかかわりについてのポスター内容をメンバーで議論した。また、お子さん向けの電気自動車キットは直前にメンバーで準備した。



4. 当日の様子 (写真含む)

・当日は 12 時位から会場全体のお客様の数が増えたこともあり、当ブースへの来訪も増加してきた。

・SDGs を知るという機会は子供よりも親が知りたいという印象（言葉は知っているけど、具体的にどんなことを言っているのかわからないという意見から）

・子供は親子と一緒にやるたてあそび（やるたそのもので遊ぶことがなかなかないので）、一緒にアクションを考える、一緒に電気自動車キットに触れるということから考える機会になったのではないと思う。

・一方、イベントの特性上、ノベルティをもらえることがブースへの立ち寄り基準な点もある（他のブースがその傾向が強い）ため、電気自動車キットが有限で個数を用意できないことは昨年度と同じ状況となった。

・子供から情報発信する（発光ダイオードや SDGs のなんたるかを知っていること）ことは昨年と同じ発見だった。親子で対話する機会になったのではないと思う。



5. 参加者からの感想、来年への課題等

- ・写真でも分かるが、客観的にどんなことをするブースがわからない。ポスターを作るなりして、どんなことをしているのか即座にわかる状態にならないとなかなか声をかけにくいのではないか。
- ・電気自動車キットを去年も見たという人が何人かいた。継続して印象付けるのもよいが、同じことをしている印象とも受けられるため、来年以降も継続するかは議論が必要。
- ・今回は、理科教室とイベントが重なった件、採択までの時間が無かった件もあり、テーマ選定に時間をかけることが出来なかった。来年度のサイエンスアゴラのテーマ次第ではあるが、どんなことをやりたいかは、早い段階で議論が必要だと感じた（理科教室が4～7月で時間拘束されるため）
- ・環境部門の赤澤様が当ブースへ2日間お伺いして、来年度は一緒にできないかというお話を受けた。
- ・電気自動車キット目当てで本来の対話ができているか（特にSDGsと化学の結びつき）という点は課題として残ったと感じた。

以上